

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

4Sモデルの追求。お客様、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、持続的な利益成長を実現する。

配当性向
75%

② 中長期の経営戦略

1. 質の高いトップライン成長

Combustiblesの収益性向上とRRP（特に加熱式たばこ）への経営資源集中。Ploomブランドのグローバル確立を目指す。

3. コスト競争力強化

事業コスト・コーポレートコストの最適化。品質維持・向上との両立。スピーディーかつ効率的な事業運営体制構築。

2. ブランドエクイティ強化

GFBを中心とした主要ブランドへの継続投資。ローカルブランドでの補完。ブレンド技術、香料技術、フィルター材料技術の進化。

4. 基盤強化の推進

変化への対応力強化。100以上の国籍の社員の多様性活用とコラボレーション推進。人財育成の強化。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・地政学リスク顕在化による世界経済への影響に対応
- ・為替変動リスク・インフレ・金利動向への対応能力が競争力を決定
- ・不確実性に対処するため計画策定範囲を拡げ、素早く柔軟に対応

② Combustibles市場の構造変化

- ・成熟市場での増税・規制強化による需要減少。低価格帯へのシフト
- ・新興市場での人口増・経済成長による需要増加。中・高価格帯へのシフト
- ・数量ベース減少も金額ベースでは単価上昇により成長継続

③ RRP市場の成長への対応

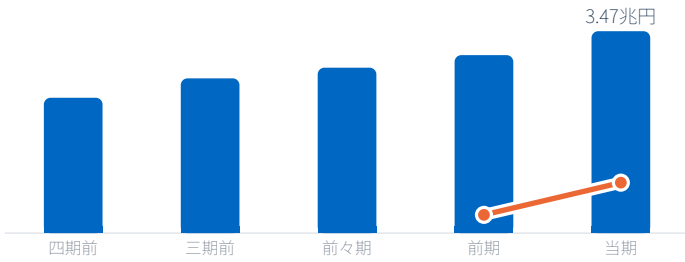
- ・加熱式たばこ（特にHeated Tobacco Sticks）の市場拡大に対応
- ・E-Vapor、Modern Oralなど規制状況が不明確な製品への対応
- ・RRP各製品タイプのイノベーション・イノベーション競争への対応

面接で使えるポイント

- ・4Sモデル（お客様・株主・従業員・社会の4者）で経営理念を貫き、中長期持続的利益成長を実現している経営方針。
- ・たばこ事業を利益成長の中核と位置付け、年平均mid to high single digit成長を目指す長期戦略と強固な…
- ・Ploomブランドのグローバル確立、加熱式たばこへの優先投資…

証券コード 2914

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3.47兆円営業利益率
25.0%財務健康度
69点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 69.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,004万円
食料品内 6位/120社平均年齢
41.0歳
食料品内 69位/121社平均勤続
14.7年
食料品内 68位/121社女性管理職
10.9%
食料品内 54位/106社男性育休
141.5%
食料品内 1位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

